

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

刀がナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護 3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子					
本人氏名	●●●●様	81 歳			<input type="checkbox"/> その他 ()					
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年12月14日(土) 13:00 分頃					
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()									
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 () 昼食後●●氏が拠点にて雑誌を読んでおり、拠点には職員が二人いた。一人は食器を片付けており、一人は拠点のパソコンの横に立ち●●氏を背にして書類を読んでいた。●●氏の方を時々見ながら書類を読んでいたが、一、二分の間●●氏から目を離れた時に食器を片付けていた職員が「ああ！」と声をあげ「ガタン」と音がした。音がした方向を見ると右側を下にし壁側を背に向け倒れている●●氏を発見する。 (施設内連絡) 13時03分 ●●援助員より医務へ口頭にて転倒の件報告する。 13時10分 ●●主任援助員より施設長へ内線にて転倒の件報告する。 13時11分 ●●主任援助員より援助課長へ口頭にて転倒の件報告する。 13時12分 ●●主任援助員より施設長補佐へ口頭にて転倒の件報告する。									
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input checked="" type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 (3cmほどの薄いアズキ色の変色)				部位	右前腕部				
	転倒後本人に痛み問うも「なんも」と話される。その後、外傷は無いか確認すると、右前腕部に薄いアズキ色の3cm程の変色確認する。									
対応	<input type="checkbox"/> 様子観察 <input checked="" type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 () 右前腕部の変色の件を医務に報告し診てもらっても、今できた変色ではないが、大事をとり湿布対応し様子を見る。									
バイタルサイン	体温	36.3 °C	血圧	120 / 73 mmHg	脈拍	78 回/分	SP02	%	計測時間	13:05
要因・原因	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 () 以前に転倒した時の対応として、落ち着き無いときはそばについて見守りを行う事になっていた。又、●●氏は常に目が離せない方だったにも関わらず、見守りを怠ってしまった為に起きてしまった事故である。転倒後にトイレ誘導した時にパットに少量、トイレに多量の排泄があった為、トイレに行きたかった事も考えられる。									
事故防止対策	拠点で見守りをする職員は必ず●●氏を視野に入れる事。又、多動な場合は●●氏のそばについて見守りを行う事。 転倒後トイレ誘導をした時にパットに少量、トイレに多量の排尿がありトイレに行きたかった事も考えられる為、排泄の有無・量・時間を在勤職員に周知をする事。 多動な時はそばについて見守りを行うだけではなく、一緒に散歩へ出掛けたりして気分転換を図る。									
	加ファリスの必要性について		<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要							
家族への説明	平成25年12月14日(土)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●					
	家族氏名	●●●●氏			続柄	次女夫				
	電話にて転倒事故の件報告し謝罪する。「何も。大丈夫なんですよ。すみませんねえ。お世話掛けます。よろしくお願ひします。」とお話しあり。									